農作業安全検討会中間とりまとめ一概要一

令和3年5月14日 農作業安全検討会

参考資料1

農業は毎年300件前後の死亡事故が発生。就業人口10万人当たりの死者数も増加傾向にあり、他産業との差は拡大している。労働安全が未だ十分に確保されていない状況に、農業関係者は強い危機感を抱くべきであり、農作業安全対策を幅広い観点から更に積極的に展開すべき。

農作業環境の安全対策の強化

【農業機械の安全対策の強化】

- ・ 海外や他分野で装備されている安全 装置等が、我が国では未装備
- → 農作業死亡事故の要因となっている可能性
- ・ 安全性検査※の受検が一部の機種に 偏重
- → 農業者が安全基準を満たす型式を容易に選択で きない状態

※農研機構が運用する任意の制度

- ・ 法令*で定められた規制への農業分野における対応が十分ではない
- トラクター等が、他分野と異なり、法令 ※の規制対象機械となっていないもの がある

※労働安全衛生法令、道路運送車両法令

海外や他分野の現状等を踏まえ、逐次、安全装置の装備化等を進める必要

- → まずは、以下の装備化等の検討を開始
- ・シートベルト非着用時の警告装置
- ・シートスイッチ(離席時に作業機への動力伝達を遮断する装置)
- ・ 安全性検査の仕組みを見直し、受検率の向上を 図る必要
- → 以下の見直しの検討を開始
- ・ 書類審査への移行
- 検査手数料の低減
- ・検査合格機について保険料の割引の働きかけ等
- ・ 既に法令で規制されている取組の徹底に向けた 指導の強化等が必要

(例)フォークリフトの定期自主検査、トラクターの灯火器類の設置

事故分析結果等を踏まえ、必要に応じてトラクター等の規制上の取り扱いについて、法所管省への確認が必要

【農地、農道、農業施設等の安全対策の強化】

農地や農道、農業施設等の安全対策 の強化が重要



農業生産基盤整備を行う際の安全配慮の徹底、 優良事例の積極的な情報提供が必要

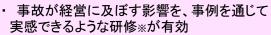
農業者の安全意識の向上

【研修体制の強化】

(5)

家族経営が多く労務管理が困難

・ 農業者は農作業事故を「自分ごと」とし て捉えていない



※ 自動車運転免許証の更新時講習などが参考

・ 研修受講を補助金の受給要件(クロスコンプライアンス)化する必要

【現場の取組の活性化】

・ GAPなどの具体的な取組に向けて、 農業者等の機運の醸成が不可欠

- 県段階、地域段階における農作業安全推 進協議会等の設置促進が必要
- ・ 積極的な取組の表彰等を通じて、安全対策 の印象を前向きなものに変えていく必要